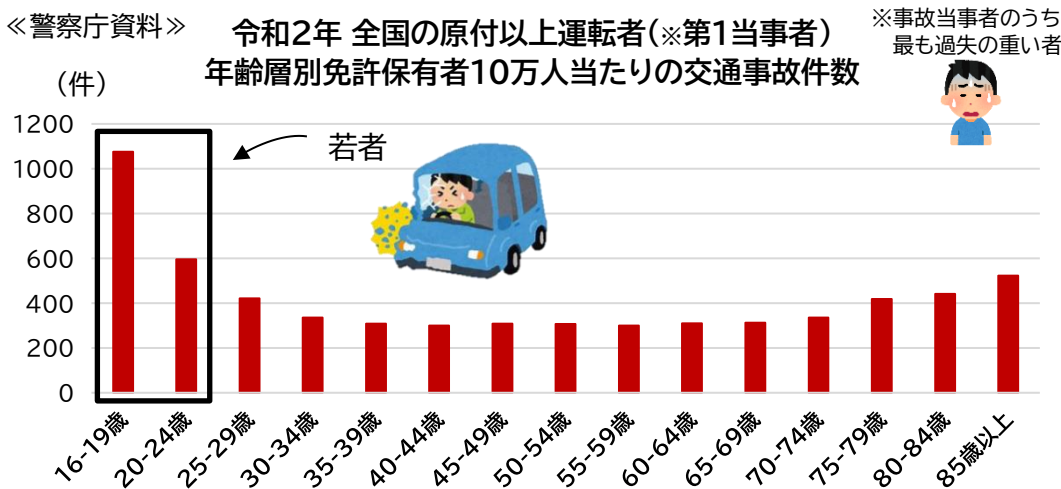




## 急増! 若者の交通死亡事故

大幅な速度オーバー  
信号無視など、  
無謀運転による事故が多発

現在、愛知県内では若者（16歳～24歳）の交通死亡事故が  
去年比+13人（+約430%）（R4年8月末現在）と急増しています。



事故の第1当事者は、年齢層別では若者(16—24歳)の割合がとても多いですね!

### 若者に多い事故の特徴

16-24歳の若年ドライバーの事故に多い法令違反として、「信号無視」、「脇見運転」、「漫然運転」などが挙げられます。「追突事故」や「単独事故」が多いのも若者の事故の特徴です。また、※7割以上が「前方不注意」や「安全不確認」など「発見の遅れ」から起きています。（※公益財団法人交通事故総合分析センター「H29 交通事故統計データ」より）

運転中は交通ルールを守るのはもちろんですが、スマホやナビ等の操作をしないなど、運転に集中できる環境で、いち早く危険を発見できるように心がけましょう。

🌿 ご家庭や職場などで、声をかけ合いましょう

令和4年10月からの「運転前後のアルコール検知器によるチェックの義務化」は  
施行延期となりました。（現在のアルコール検知器の供給状況から、入手するのが困難なため）

**義務化延期**

- 運転者の酒気帯びの有無の確認を、アルコール検知器を用いて行うこと
- アルコール検知器を常時有効に保持すること

新たな施行時期は現在のところ未定ですが、運転前後の目視でのチェックと記録は必ず行いましょう！

